



PDF

55 . オオヤマトンボ *Epopthalmia elegans elegans*

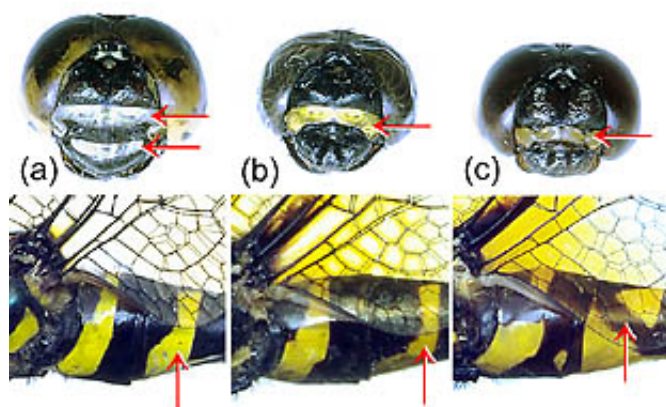


写真2-69. オオヤマトンボ. 小野市. 1993.10.11. 休息するメス. (杉谷篤氏撮影).

分布：各地のため池にふつうにみられるトンボです。記録は、北区有野町，淡河町，山田町，山の街，西区岩岡町，押部谷町，玉津町，櫛谷町，伊川谷町，垂水区美山台，塩屋台，多聞町，須磨区多井畑，妙法寺町，菅ノ台などがあります。

生態：神戸では5月下旬には水辺に現れています。幼虫をすくうとこのころまだ終齢になっていないものがいて、さらに梅雨が明けたころに終齢幼虫がとれます。また盛夏の朝夕にもヤンマと混

じって摂食飛翔をしますが、このときに羽化して間もない個体がとれたりします。早く現れる群と夏ころに現れる群の2群があるように感じています。メスは池の岸に沿って往復しながら打水産卵します。



形態：腹長50～62mm。コヤマトンボやキイロヤマトンボとよく似ていますが、より太めでがっしりしていますので、慣れればすぐに区別できます。正確には、これらとは、顔面の黄色条がオオヤマトンボが2本あるのに対し、これらは1本しかないということで区別できます。

写真 2-70. オオヤマトンボ (a), とコヤマトンボ (b), キイロヤマトンボ (c) の区別点.